

QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ マニュアル訂正資料

All Rights Reserved

事前に NEC の書面による許可なく、本マニュアルをいかなる形式または方法で複製または配布することを禁止します。

商標

本マニュアルに記載されているその他の商標は、各社が保有します。

注意

本マニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルのすべての記述、情報、および推奨事項は、明示的か暗黙的にかかわらず、いかなる種類の保証の対象になりません。

本資料について

この資料は、以下に示す QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチに関するマニュアルからの変更内容を記載しています。

マニュアル	マニュアル番号	内容
QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ インストールマニュアル	GVT-060646-001-00 2.0	システムのインストール について説明していま す。
QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル	GVT-073439-001-00 1.19	機能の設定について説明 しています。
QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル	GVT-074167-001-00 1.9	機能に関するコマンドに ついて説明しています。
QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ Web コンソール操作マニュアル	GVT-073442-001-00 1.0	Web コンソールからの 装置設定、状態確認等 についての操作を記述し ています。

発行

2026年9月（8版）

改版履歴

版数	日付	内容
1.0	2025/12/24	新規作成
2.0	2026/1/16	#13376、#13735、#15848、#16006 を追加
3.0	2026/1/30	#16677、#17267、#17689、#17867 を追加、#11292、#13634 を削除
4.0	2026/2/16	#16909 を追加
5.0	2026/3/18	#19603 を追加
6.0	2026/3/25	#19346、#20212 を追加
7.0	2026/4/16	#16840、#17228 を追加
8.0	2026/9	#20290 を追加

目次

1 章 QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ インストールマニュアル.....	6
03-スイッチの設置.....	7
3.7.3. DC 電源ケーブルの作成	7
11-付録 C ポートと LED	8
11.3.9. 拡張インタフェースステータス LED	8
2 章 QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル.....	9
03-アクセス.....	10
9.3.1. 制限とガイドライン	10
14.2. 制限とガイドライン	11
04-IP サービス	12
10.2. 制限とガイドライン	12
07-ACL and QoS.....	13
4.1. 概要	13
4.1.1. プライオリティ	14
4.1.4. プライオリティのマッピング手順	16
4.3. プライオリティマッピングの設定	18
4.6. プライオリティマッピングの表示と維持	19
12.2.1. プライオリティマップ	20
08-セキュリティ	23
4.1. 概要	23
14.2. 制限とガイドライン	24
09-高可用性.....	25
4.1.6 プロトコルと標準	25
5.4.2 Smart Link グループのプロテクト VLAN の設定	26
10-システム管理	28
9.5.3 出力ポートを使用したレイヤ 2 リモートポートミラーリングの設定作業リスト	28
3 章 QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル.....	29
01-はじめに.....	30
10.1.18 display power	30
02-IRF スタック	31
1.1.16 mad bfd enable	31
03-アクセス.....	33
10.1.9. vlan.....	33
14.1.2 vlan mapping.....	34
04-IP サービス	35
12.1.1 http-redirect https-port.....	35
07-ACL and QoS.....	36
3.1.1. display qos map-table	36
3.1.3. qos map-table	37
08-セキュリティ	38
3.1.10 mac-authentication timer.....	38
09-高可用性.....	39
4.1.7 protected-vlan	39
4 章 QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ Web コンソール操作マニュアル.....	40

1 章 QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ インストール マニュアル

03-スイッチの設置

3.7.3. DC 電源ケーブルの作成

■管理情報

区分	管理番号
変更	#17228

■内容

変更前)

📌 メモ :

DC 電源ケーブルは単線タイプを別途用意してください。

DC 電源コード作成方法手順を以下に示します。

DC コネクタは以下の 2 パーツで構成されます。パーツ B の方向には特に注意が必要です。 図 3-20 を参照し、コネクタの向きを確認した上で、接続ミスがないよう作業を行ってください。

変更後)

DC 電源コード作成方法手順を以下に示します。

DC コネクタは以下の 2 パーツで構成されます。パーツ B の方向には特に注意が必要です。 図 3-20 を参照し、コネクタの向きを確認した上で、接続ミスがないよう作業を行ってください。

11-付録 C ポートと LED

11.3.9. 拡張インタフェースステータス LED

■管理情報

区分	管理番号
変更	#16006

■内容

変更前)

QX-S5324GT-4X1C、QX-S5348GT-4X1C は背面に 1 つの拡張インタフェーススロットがあります。拡張インタフェースステータス LED は拡張インタフェースカードの動作状態を示します。

表 11-21 拡張インタフェースステータス LED の説明

LED 表記	LED 状態	説明
SLOT	緑点灯	スロットに拡張インタフェースカードが正しく挿入され、正常に動作しています。
	黄点滅	装置が拡張インタフェースカードをサポートしていないか、拡張インタフェースカードが故障しています。
	消灯	スロットに拡張インタフェースカードが未挿入です。

変更後)

QX-S5324GT-4X1C、QX-S5348GT-4X1C は背面に 1 つの拡張インタフェーススロットがあります。拡張インタフェースステータス LED は拡張インタフェースカードの動作状態を示します。

表 11-21 拡張インタフェースステータス LED の説明

LED 表記	LED 状態	説明
SLOT	橙点灯	スロットに拡張インタフェースカードが正しく挿入され、正常に動作しています。
	黄点滅	装置が拡張インタフェースカードをサポートしていないか、拡張インタフェースカードが故障しています。
	消灯	スロットに拡張インタフェースカードが未挿入です。

2 章 QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル

03-アクセス

9.3.1. 制限とガイドライン

■管理情報

区分	管理番号
変更	#15848

■内容

変更前)

ループ検出はグローバルあるいは指定されたポートで有効にすることができます。ポートが VLAN で検出フレームを受信すると、ループの検出が有効かどうかに関係なく、そのポートでループ保護アクションが起動されます。

変更後)

ループ検出を有効にするときは、次の制限事項とガイドラインに従ってください。

- ループ検出はグローバルあるいはポート単位で有効にすることができます。指定のポートのみループ検出を有効化する場合は、グローバルの設定を無効に設定してください。
- ループ検出はポートで有効化されている VLAN の検出フレームを受信すると、受信したポートのループ検出が有効かどうかに関係なく、そのポートで指定したループ保護アクションが動作します。
- リンクアグリゲーションポート単位にループ検出を有効化する場合は、リンクアグリゲーショングループの論理ポート（aggregate interface view）にループ検出の設定をする必要があります。メンバポートに設定しても動作しません。

14.2. 制限とガイドライン

■管理情報

区分	管理番号
変更	#16840

■内容

変更前)

VLAN タグをパケットに追加するには、VLAN マッピングと QinQ の両方を設定できます。VLAN マッピングは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QinQ の詳細については、セクション 3 アクセス オペレーションマニュアルの"QinQ"を参照してください。

パケットに VLAN タグを追加または置換するには、VLAN マッピングと QoS ポリシーの両方を設定できます。QoS ポリシーは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QoS ポリシーの詳細はセクション 7 ACL and QoS オペレーションマニュアルの"QoS ポリシー"を参照してください。

変更後)

VLAN タグをパケットに追加するには、VLAN マッピングと QinQ の両方を設定できます。VLAN マッピングは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QinQ の詳細については、セクション 3 アクセス オペレーションマニュアルの"QinQ"を参照してください。

パケットに VLAN タグを追加または置換するには、VLAN マッピングと QoS ポリシーの両方を設定できます。QoS ポリシーは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QoS ポリシーの詳細はセクション 7 ACL and QoS オペレーションマニュアルの"QoS ポリシー"を参照してください。

DHCP スヌーピングとの併用はできません。

04-IP サービス

10.2. 制限とガイドライン

■管理情報

区分	管理番号
変更	#16840

■内容

変更前)

- ・レイヤ 2 Ethernet インタフェース、アグリゲートインタフェースは、トラステッドポートとして指定できます。アグリゲートインタフェースの詳細は、セクション 3 アクセス オペレーション マニュアルの”リンクアグリゲーション”を参照してください。

変更後)

- ・レイヤ 2 Ethernet インタフェース、アグリゲートインタフェースは、トラステッドポートとして指定できます。アグリゲートインタフェースの詳細は、セクション 3 アクセス オペレーション マニュアルの”リンクアグリゲーション”を参照してください。

- ・VLAN マッピングとの併用はできません。

07-ACL and QoS

4.1. 概要

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-1

■内容

変更前)

プライオリティマッピングはプライオリティマッピングテーブルに実装され、以下のプライオリティを決定します。

- 802.1p プライオリティ
- DSCP
- EXP
- IP プレシーデンス
- ローカルプレシーデンス
- ドロッププライオリティ

変更後)

プライオリティマッピングはプライオリティマッピングテーブルに実装され、以下のプライオリティを決定します。

- 802.1p プライオリティ
- DSCP
- IP プレシーデンス
- ローカルプレシーデンス

4.1.1. プライオリティ

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-2

■内容

変更前)

パケットに含まれているプライオリティは、802.1p プライオリティ、DSCP プレシーデンス、IP プレシーデンス、EXP があります。パケットに含まれるプライオリティは、他の装置でも使用されるため、ネットワークに影響します。プライオリティの詳細は「[セクション 7 ACL and QoS オペレーションマニュアル](#)」の「付録」を参照してください。

ローカルに割り当てられたプライオリティは装置内でのみ使用されます。プライオリティはローカルプレシーデンス、ドロッププライオリティがあります。

- ローカルプレシーデンススケジューリング用に使われます。ローカルプレシーデンスの値は出力キューに対応します。ローカルプレシーデンスの値が高いパケットが高い出力キューに割り当てられます。
- ドロッププライオリティパケットの廃棄を行うために使用します。ドロッププライオリティの値が高いパケットを優先的に廃棄します。
- ユーザプライオリティ装置が自動で転送するパスに従いパケットのプライオリティフィールドから優先度を決定します。パケットのスケジューリングプライオリティと転送プライオリティを決定します。ユーザプライオリティは以下のアイテムを示します。
 - レイヤ 2 パケットの 802.1p プライオリティ
 - レイヤ 3 パケットの IP プレシーデンス

QX-S5300G シリーズはローカルプレシーデンス、ドロッププライオリティのみサポートします。

変更後)

パケットに含まれているプライオリティは、802.1p プライオリティ、DSCP プレシーデンス、IP プレシーデンスがあります。パケットに含まれるプライオリティは、他の装置でも使用されるため、ネットワークに影響します。プライオリティの詳細はオペレーションマニュアルのセクション 7 ACL and QoS ” 付録” を参照してください。

- ユーザプライオリティ転送するパスに従い装置が自動でパケットのプライオリティフィールドから優先度を決定します。パケットのスケジューリングプライオリティと転送プライオリティを決定します。ユーザプライオリティは以下のアイテムを示します。

- レイヤ 2 パケットの 802.1p プライオリティ

- レイヤ 3 パケットの IP プレシーデンス、DSCP

ローカルに割り当てられたプライオリティは装置内でのみ使用されます。プライオリティはローカルプレシーデンスがあります。

- ローカルプレシーデンススケジューリング用に使用されます。ローカルプレシーデンスの値は出力キューに対応します。ローカルプレシーデンスの値が高いパケットが高い出力キューに割り当てられます。

4.1.4. プライオリティのマッピング手順

■ 管理情報

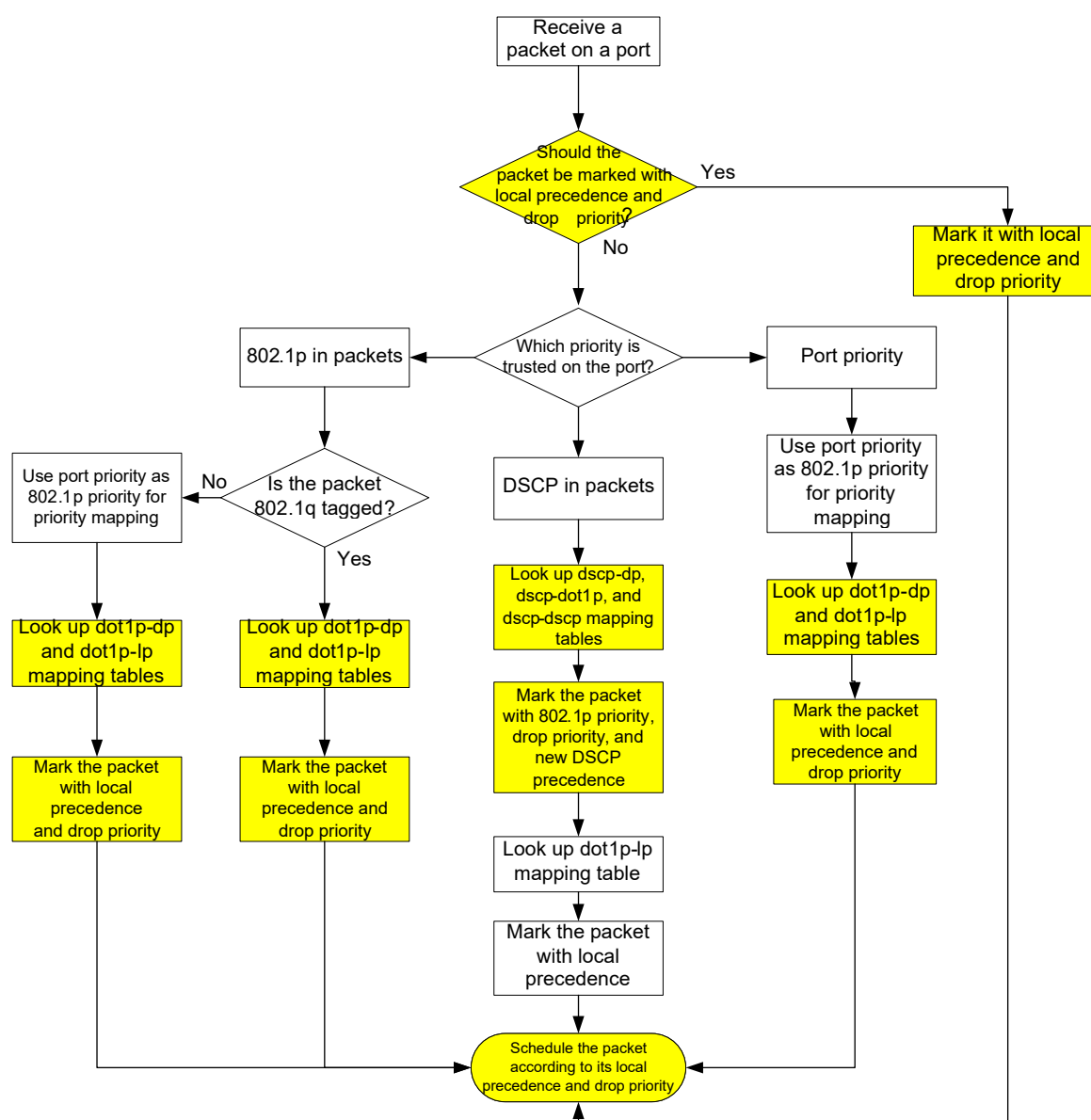
区分	管理番号
変更	#19346-3

■ 内容

変更前)

ポートでイーサネットパケットを受信した際、スイッチはパケットのプライオリティのスケジューリング(ローカルプレシードンス、ドロッププレシードンス)をマーキングします。プレシードンスは、図 4-1 のように受信したポートのプライオリティトラステッドモードとパケットの 802.1Q タグリング状態に従って行われます。

図 4-1 イーサネットパケットのプライオリティマッピング手順



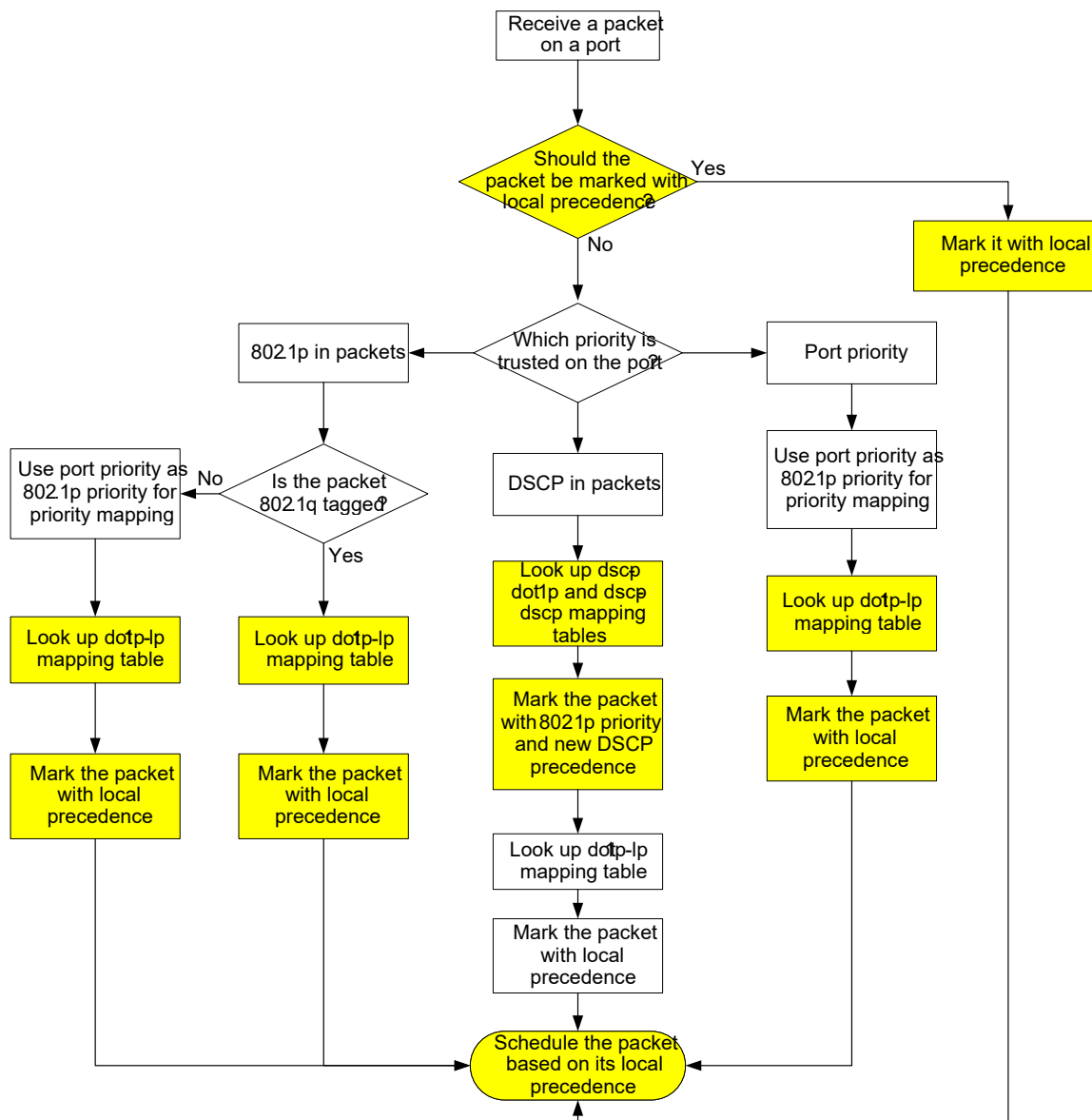
詳細は、[セクション 7 ACL and QoS オペレーションマニュアルの"プライオリティマーキング"](#)を参照してください

変更後)

ポートでイーサネットパケットを受信した際、スイッチはパケットのプライオリティのスケジューリング(ローカルプレシードンス)をマーキングします。プレシードンス

は、図 4-1 のように受信したポートのプライオリティトラステッドモードとパケットの 802.1Q タグリング状態に従って行われます。

図 4-1 イーサネットパケットのプライオリティマッピング手順



詳細は、オペレーションマニュアルのセクション 7 ACL and QoS "プライオリティマーキング"を参照してください。

4.3. プライオリティマッピングの設定

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-4

■内容

変更前)

操作	コマンド	補足
2. priority map view に移行する	qos map-table { dot1p-dp dot1p-lp dscp-dot1p dscp-dp dscp-dscp exp-dp }	—
3. プライオリティマッピングを設定する	import import-value-list export export-value	デフォルト：デフォルトのプライオリティマップ 詳細は、セクション 7 ACL and QoS オペレーションマニュアルの"付録"を参照してください。 新規に設定した値は、既存の設定に上書きします。

変更後)

操作	コマンド	補足
2. priority map view に移行する	qos map-table { dot1p-lp dscp-dot1p dscp-dscp }	—
3. プライオリティマッピングを設定する	import import-value-list export export-value	デフォルト：デフォルトのプライオリティマップ 詳細は、オペレーションマニュアルのセクション 7 ACL and QoS "付録"を参照してください。 新規に設定した値は、既存の設定に上書きします。

4.6. プライオリティマッピングの表示と維持

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-5

■内容

変更前)

すべての view で display コマンドを実行できます。

操作	コマンド
プライオリティマッピング の 設定を表示する	<code>display qos map-table { dot1p-dp dot1p-lp dscp-dot1p dscp-dp dscp-dscp exp-dp }</code>

変更後)

すべての view で display コマンドを実行できます。

操作	コマンド
プライオリティマッピング の 設定を表示する	<code>display qos map-table { dot1p-lp dscp-dot1p dscp-dscp }</code>

12.2.1. プライオリティマップ

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-6

■内容

変更前)

デフォルトの **dot1p-exp**、dscp-dscp プライオリティマップでは、入力した値と出力の値が同一となります。

表 12-2 デフォルトの dot1p-lp、**dot1p-dp** プライオリティマップ

プライオリティの入力値	dot1p-lp マッピング	dot1p-dp マッピング
dot1p	lp	dp
0	2	0
1	0	0
2	1	0
3	3	0
4	4	0
5	5	0
6	6	0
7	7	0

表 12-3 デフォルトの **dscp-dp**、dscp-dot1p プライオリティマップ

プライオリティの入力値	dscp-dp マッピング	dscp-dot1p マッピング
dscp	dp	dot1p
0 to 7	0	0
8 to 15	0	1
16 to 23	0	2
24 to 31	0	3
32 to 39	0	4
40 to 47	0	5
48 to 55	0	6
56 to 63	0	7

表 12-4 デフォルトの exp-dp プライオリティマップ

プライオリティの入力値	exp-dp マッピング
EXP 値	dp
0	0
1	0

2	0
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0

表 12-5 Default port priority-local priority map デフォルトのポートプライオリティローカルプライオリティマッピング

Port priority	ローカルプレシードンス
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7

変更後)

デフォルトの dscp-dscp プライオリティマップでは、入力した値と出力の値が同一となります。

表 12-2 デフォルトの dot1p-lp プライオリティマップ

プライオリティの入力値	dot1p-lp マッピング
dot1p	lp
0	2
1	0
2	1
	3
4	4
5	5
6	6
7	7

表 12-3 デフォルトの dscp-dot1p プライオリティマップ

プライオリティの入力値	dscp-dot1p マッピング
dscp	dot1p
0 to 7	0
8 to 15	1

16 to 23	2
24 to 31	3
32 to 39	4
40 to 47	5
48 to 55	6
56 to 63	7

表 12-4 デフォルトのポートプライオリティローカルプライオリティマッピング

Port priority	ローカルプレシデンス
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7

08-セキュリティ

4.1. 概要

■管理情報

区分	管理番号
追加	#20212

■内容

📖 メモ：

QX-S5300G シリーズの MAC アドレス認証は CHAP での認証に対応していません。

14.2. 制限とガイドライン

■管理情報

区分	管理番号
変更	#16909

■内容

変更前)

VLAN タグをパケットに追加するには、VLAN マッピングと QinQ の両方を設定できます。VLAN マッピングは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QinQ の詳細については、[セクション 3 アクセス オペレーションマニュアルの"QinQ"](#)を参照してください。

パケットに VLAN タグを追加または置換するには、VLAN マッピングと QoS ポリシーの両方を設定できます。QoS ポリシーは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QoS ポリシーの詳細は[セクション 7 ACL and QoS オペレーションマニュアルの"QoS ポリシー"](#)を参照してください。

変更後)

VLAN タグをパケットに追加するには、VLAN マッピングと QinQ の両方を設定できます。VLAN マッピングは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QinQ の詳細については、[オペレーションマニュアルのセクション 3 アクセス "QinQ"](#)を参照してください。

パケットに VLAN タグを追加または置換するには、VLAN マッピングと QoS ポリシーの両方を設定できます。QoS ポリシーは、設定の重複が発生した場合に有効になります。QoS ポリシーの詳細は[オペレーションマニュアルのセクション 7 ACL and QoS "QoS ポリシー"](#)を参照してください。

VLAN マッピングを適用したインタフェースを経由し、かつ VLAN マッピング対象の VLAN インタフェースを経由する L3 通信は未サポートです。

VLAN マッピング対象の VLAN に VLAN インタフェースを作成および IP アドレスを設定する場合は、L3 通信の経路（送受信インタフェース）には VLAN マッピングを適用しないでください。

09-高可用性

4.1.6 プロトコルと標準

■管理情報

区分	管理番号
削除	#17689

■内容

変更後)

4.1.6 プロトコルと標準 の章を削除

5.4.2 Smart Link グループのプロテクト VLAN の設定

■管理情報

区分	管理番号
変更	#20290

■内容

変更前)



重要：

pvst mode を設定している装置で Smart Link を使用する場合は、以下の通りに **protected-vlan reference-instance** コマンドを指定してください。**reference-instance** の値が正しく指定されていない場合は、Smart Link の STANDBY ポートがパケットを転送します。

- ・ stp global enable コマンド設定なし

protected-vlan reference-instance 0 コマンドを設定します。

- ・ stp global enable コマンド設定あり

Smart Link の対象となる vlan の ID が 145 以上の場合は **protected-vlan reference-instance 0** を設定します。それ以外の vlan の場合は、該当する vlan と同じ ID を instance に設定します。たとえば、VLAN 100 を使用する場合は **protected-vlan reference-instance 100** を設定します。

変更後)

**重要：**

pvst mode を設定している装置で Smart Link を使用する場合は、以下の通りに **protected-vlan reference-instance** コマンドを指定してください。reference-instance の値が正しく指定されていない場合は、Smart Link の STANDBY ポートがパケットを転送します。

- ・ stp global enable コマンド設定なし
protected-vlan reference-instance 0 コマンドを設定します。
- ・ stp global enable コマンド設定あり

VLAN の個数が 128 個までは、VLAN ID=インスタンス ID でマッピングされます。129 個目以降の VLAN は全て、インスタンス 0 にマッピングされます。

例) vlan 1, 3, 5, 200 を定義している場合、以下のように自動的にマッピングされます。

Instance	VLANs Mapped
0	2, 4, 6 to 199, 201 to 4094
(未定義の VLAN、または、129 個目以降の VLAN は 0 にマッピングされる)	
1	1
3	3
5	5
200	200

注) display stp region-configuration は、MSTP モード時しか利用できず、PVST モード時は、実際の MSTI マッピング状態を確認できません。

Smart Link の対象となる vlan の ID が、VLAN ID=インスタンス ID でマッピングされた vlan の場合は、protected-vlan reference-instance に該当する vlan と同じ ID を instance に設定します。Smart Link の対象となる vlan の ID が、インスタンス 0 にマッピングされている場合は、protected-vlan reference-instance 0 を設定します。

たとえば、VLAN 100 を使用する場合は、protected-vlan reference-instance 100 を設定します。しかし、VLAN 200 を使用する場合は、定義された VLAN の数により、vlan と同じ ID または 0 のどちらを指定すべきか判断する必要があります。

10-システム管理

9.5.3 出力ポートを使用したレイヤ 2 リモートポートミラーリングの設定作業リスト

■管理情報

区分	管理番号
変更	#16677

■内容

変更前)

作業リスト
(必須設定項目) デスティネーション装置の設定 - リモートデスティネーショングループの作成 - モニタポートの設定 - モートプローブ VLAN の設定 - リモートプローブ VLAN へのモニタポートの割り当て
(必須設定項目) ソース装置の設定 - リモートソースグループの作成 - ミラーリングソースの設定 - リフレクタポートの設定 - リモートプローブ VLAN の設定

変更後)

作業リスト
(必須設定項目) デスティネーション装置の設定 - リモートデスティネーショングループの作成 - モニタポートの設定 - リモートプローブ VLAN の設定 - リモートプローブ VLAN へのモニタポートの割り当て
(必須設定項目) ソース装置の設定 - リモートソースグループの作成 - ミラーリングソースの設定 - 出力ポートの設定 - リモートプローブ VLAN の設定

3 章 QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル

01-はじめに

10.1.18 display power

表 10-6 コマンド出力

■管理情報

区分	管理番号
変更	#13735

■内容

変更前)

フィールド	説明
Current(A)	電源ユニットの出力電流（アンペア単位）です。 このフィールドがサポートされていない場合は、2つのハイフン(--)が表示されます。
Voltage(V)	電源ユニットの出力電圧（ボルト単位）です。 このフィールドがサポートされていない場合は、2つのハイフン(--)が表示されます。
Power(W)	電源ユニットの出力電力（ワット単位）です。 このフィールドがサポートされていない場合は、2つのハイフン(--)が表示されます。

変更後)

フィールド	説明
Current(A)	電源ユニットの出力電流（アンペア単位）です。 このフィールドは未サポートです。
Voltage(V)	電源ユニットの出力電圧（ボルト単位）です。 このフィールドは未サポートです。
Power(W)	電源ユニットの出力電力（ワット単位）です。 このフィールドは未サポートです。

02-IRF スタック

1.1.16 mad bfd enable

説明

■管理情報

区分	管理番号
変更	#10561

■内容

変更前)

VLAN インタフェースで BFD MAD を設定するとき、以下のガイドラインに従います。

カテゴリ	制限とガイドライン
BFD MAD VLAN	・ VLAN インタフェース 1 で BFD MAD を有効にすることはできません。 ・ 中継装置を使用する場合、次の作業を行います。 ■ IRF スタック装置と中継装置の両方で BFD MAD の VLAN を作成します。 ■ IRF スタック装置と中継装置の両方で BFD MAD リンクのポート BFD MAD VLAN に割り当てます。 ■ IRF スタックユニットで、BFD MAD VLAN の VLAN インタフェースを作成します。 ・ ネットワークの IRF スタックユニットは異なる BFD MAD VLAN を使用してください。 ・ 正しいトラフィックの転送を行うため、BFD MAD VLAN は BFD MAD リンクのポートのみを使用してください。もし BFD MAD リンクのポートでない場合、BFD MAD VLAN から のポートを取り除いてください。たとえば port trunk permit vlan all コマンドですべての VLAN にポートが割り当てられている場合、BFD MAD VLAN からポートを除外するため、undo port trunk permit コマンドを使用してください。

変更後)

VLAN インタフェースで BFD MAD を設定するとき、以下のガイドラインに従います。

カテゴリ	制限とガイドライン
BFD MAD VLAN	・ VLAN インタフェース 1 で BFD MAD を有効にすることはできません。 ・ 中継装置を使用する場合、次の作業を行います。 ■ IRF スタック装置と中継装置の両方で BFD MAD の VLAN を作成します。 ■ IRF スタック装置と中継装置の両方で BFD MAD リンクのポート BFD MAD VLAN に割り当てます。 ■ IRF スタックユニットで、BFD MAD VLAN の VLAN インタフェースを作成します。 ■ ネットワークの IRF スタックユニットは異なる BFD MAD VLAN を使用してください。 ・ 正しいトラフィックの転送を行うため、BFD MAD VLAN は BFD MAD リンクのポートのみを使用してください。もし BFD MAD リンクのポートでない場合、BFD MAD VLAN から のポートを取り除いてください。たとえば port trunk permit vlan all コマンドですべての VLAN にポートが割り当てられている場合、BFD MAD VLAN からポートを除外するため、undo port trunk permit コマンドを使用してください。

03-アクセス

10.1.9. vlan

I. 説明

■管理情報

区分	管理番号
変更	#17867

■内容

変更前)

システムデフォルト VLAN(VLAN1)または予約済み VLAN を作成または削除することはできません。
アプリケーションによってロックされているダイナミック VLAN または VLAN を削除する前に、VLAN から設定を削除する必要があります。

QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチでサポートされる VLAN の最大数は 1024 です。

変更後)

システムデフォルト VLAN(VLAN1)または予約済み VLAN を作成または削除することはできません。
アプリケーションによってロックされているダイナミック VLAN または VLAN を削除する前に、VLAN から設定を削除する必要があります。

14.1.2 vlan mapping

説明

■管理情報

区分	管理番号
追加	#16909

■内容

インタフェースの MTU はデフォルトで 1500 バイトです。パケットに VLAN タグを追加したのち、パケット長は 4 バイト追加されます。one-to-two VLAN マッピングを設定するとき、サービスプロバイダ側ネットワークのインタフェースの MTU を少なくとも 1504 バイトに設定することを推奨します。

VLAN マッピングを適用したインタフェースを経由し、かつ VLAN マッピング対象の VLAN インタフェースを経由する L3 通信は未サポートです。

VLAN マッピング対象の VLAN に VLAN インタフェースを作成および IP アドレスを設定する場合は、L3 通信の経路（送受信インタフェース）には VLAN マッピングを適用しないでください。

04-IP サービス

12.1.1 http-redirect https-port

説明

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19603

■内容

変更前)

http-redirect https-port コマンドは HTTPS リダイレクトの待機ポート番号を指定します。

undo http-redirect https-port コマンドは設定を無効にします。

変更後)

http-redirect https-port コマンドは HTTPS リダイレクトの待機ポート番号を指定します。

undo http-redirect https-port コマンドは 6654 ポートにリダイレクトします。

07-ACL and QoS

3.1.1. display qos map-table

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-1

■内容

変更前)

Syntax

display qos map-table [dot1p-dp | dot1p-lp | dscp-dot1p | dscp-dp | dscp-dscp | exp-dp]

パラメータ

装置は表 3-1 に示すプライオリティマッピングを適用します。

表 3-1 プライオリティマッピング

プライオリティマッピング	説明
dot1p-dp	802.1p-drop プライオリティマッピングです。
dot1p-lp	802.1p-local プライオリティマッピングです。
dscp-dot1p	DSCP-802.1p プライオリティマッピングです。
dscp-dp	DSCP-drop プライオリティマッピングです。
dscp-dscp	DSCP-DSCP プライオリティマッピングです。
exp-dp	EXP-drop プライオリティマッピングです。

変更後)

Syntax

display qos map-table [dot1p-lp | dscp-dot1p | dscp-dscp]

パラメータ

装置は表 3-1 に示すプライオリティマッピングを適用します。

表 3-1 プライオリティマッピング

プライオリティマッピング	説明
dot1p-lp	802.1p-local プライオリティマッピングです。
dscp-dot1p	DSCP-802.1p プライオリティマッピングです。
dscp-dscp	DSCP-DSCP プライオリティマッピングです。

3.1.3. qos map-table

Syntax

■管理情報

区分	管理番号
変更	#19346-2

■内容

変更前)

```
qos map-table { dot1p-dp | dot1p-lp | dscp-dot1p | dscp-dp | dscp-dscp | exp-dp }
```

変更後)

```
qos map-table { dot1p-lp | dscp-dot1p | dscp-dscp }
```

08-セキュリティ

3.1.10 mac-authentication timer

説明

■管理情報

区分	管理番号
変更	#13376

■内容

変更前)

MAC アドレス認証ユーザは以下のタイマを使用します。

- **Offline detect timer**—ユーザがアイドル状態であることを検出するために、装置がユーザからのトラフィックを待つ期間を設定します。ユーザの接続が期間内でアイドル状態になっている場合、装置はユーザをログアウトし、ユーザのアカウントを停止します。このタイマは MAC アドレス認証のオフライン状態の検出機能が有効である場合のみ有効です。

オフライン検出タイマを設定した後、mac-address timer コマンドを使用して、同じ値を MAC アドレスエイジングタイマに割り当てます。この操作により、MAC アドレスエントリの有効期限が原因で、MAC 認証されたユーザがオフライン検出間隔内にオフラインになるのを防ぎます。

変更後)

MAC アドレス認証ユーザは以下のタイマを使用します。

- **Offline detect timer**—ユーザがアイドル状態であることを検出するために、装置がユーザからのトラフィックを待つ期間を設定します。ユーザの接続が期間内でアイドル状態になっている場合、装置はユーザをログアウトし、ユーザのアカウントを停止します。このタイマは MAC アドレス認証のオフライン状態の検出機能が有効である場合のみ有効です。

09-高可用性

4.1.7 protected-vlan

説明

■管理情報

区分	管理番号
追加	#17267

■内容

protected-vlan コマンドは RRPP ドメインのプロテクト VLAN を設定します。

undo protected-vlan コマンドは RRPP ドメインからプロテクト VLAN を削除します。

装置のスパニングツリーの動作モードが PVST モードの場合、MSTI の ID の値は 0 だけです。

プロテクト VLAN のリングを設定する前後に、RRPP ドメインで設定したプロテクト VLAN を削除、あるいは修正することができます。しかしドメインで設定されたすべてのプロテクト VLAN の設定を削除することはできません。VLAN ドメイン用に構成されています。

VLAN インスタンスのマッピングを変更するとき、RRPP ドメインのプロテクト VLAN も変更します。

4 章 QX-S5300G シリーズ Ethernet スイッチ Web コンソール操作マニュアル

追加および変更はありません。